



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 小林 徳也

(氏名) 林 治克

TEL 0776-53-9200

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,125	11.3	466	85.4	500	79.1	264	122.6
23年3月期第3四半期	4,605	△1.1	251	△10.7	279	△12.5	118	△5.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 239百万円 (142.7%) 23年3月期第3四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	22.99	—
23年3月期第3四半期	10.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,954	5,844	73.2
23年3月期	7,929	5,720	71.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,825百万円 23年3月期 5,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,054	6.9	705	10.8	735	10.7	417	44.6	36.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	11,500,000 株	23年3月期	11,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	11,831 株	23年3月期	11,831 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	11,488,169 株	23年3月期3Q	11,488,169 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高や海外経済の減速懸念などから持ち直しの動きが一服しております。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社)における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,125百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益466百万円(前年同期比85.4%増)、経常利益500百万円(前年同期比79.1%増)、四半期純利益264百万円(前年同期比122.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建設業系CAD事業

建築CADソフトウェア

昨年9月以降の住宅着工戸数は総計で前年比減少となり、同様に木造戸建ての新築着工戸数も減少傾向となる中、主力商品「ARCHITREND Z」の新規導入件数は減少したものの、昨年10月に発売した新商品「ARCHITREND Z リフォームエディション」の売上は順調に推移しております。また、住宅向けクラウド商品、BIM商品、保守商品も着実に前年を上回るとともに、大口の受託開発売上も加わりました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は2,709百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

測量CADソフトウェア

東日本大震災の影響による公共事業見直しの影響がありましたが、土地家屋調査士業向けには14条地図(不動産登記法14条1項で定める正確な地図)作成業務支援、測量業向けには準則改正に伴う各帳票類への対応等の業務支援を提案したことで、主力製品「BLUETREND XA2012」の新規受注が増加しました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は1,094百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

土木CADソフトウェア

土木の主力商品であります「EX-TREND 武蔵2012」を10月に発売し、総合評価支援機能の強化、情報化施工への完全支援と舗装業向けへの商品強化を図り、土木施工業を中心にプロモーションを実施しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は741百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

これらの要因により売上高5,022百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益は783百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

②ITソリューション事業

報道機関向け出口調査システム「ワンクリックカウンタ」につきましては、全国の報道機関に継続的に提案を図るとともに、学会発表を通じて知名度の向上を図りました。4月に行なわれた統一地方選においては全国的に幅広く受注したものの、東日本大震災の影響で選挙の延期や出口調査の中止が相次ぎ、その後の地方選も無投票が続きました。また、インターネット宿泊予約システムにつきましては、大手エージェントへの対抗手段として口コミサイトとの提携を進めたものの、売上が伸びるまでにはいたりませんでした。この結果、売上高103百万円(前年同期比19.0%減)、営業利益は7百万円(前年同期比66.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,954百万円となり、前連結会計年度末より25百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124	2,722
受取手形及び売掛金	1,410	991
商品及び製品	23	33
仕掛品	18	10
原材料及び貯蔵品	30	27
繰延税金資産	168	92
その他	67	86
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	3,835	3,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,806	1,737
土地	1,147	1,123
その他(純額)	67	61
有形固定資産合計	3,021	2,922
無形固定資産		
のれん	22	34
その他	77	97
無形固定資産合計	100	131
投資その他の資産		
投資有価証券	582	561
繰延税金資産	53	56
その他	349	333
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	971	940
固定資産合計	4,093	3,994
資産合計	7,929	7,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43	37
未払法人税等	183	49
前受金	1,176	1,302
賞与引当金	173	80
役員賞与引当金	20	15
その他	546	561
流動負債合計	2,144	2,046
固定負債		
長期未払金	43	43
その他	21	19
固定負債合計	65	63
負債合計	2,209	2,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	2,020	2,169
自己株式	△5	△5
株主資本合計	5,742	5,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△66
その他の包括利益累計額合計	△48	△66
少数株主持分	25	18
純資産合計	5,720	5,844
負債純資産合計	7,929	7,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,605	5,125
売上原価	858	1,036
売上総利益	3,746	4,088
販売費及び一般管理費	3,495	3,622
営業利益	251	466
営業外収益		
受取配当金	7	7
受取手数料	9	9
償却債権取立益	—	10
その他	12	9
営業外収益合計	29	35
営業外費用		
持分法による投資損失	—	1
その他	2	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	279	500
特別損失		
有価証券評価損	20	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
減損損失	—	23
その他	15	—
特別損失合計	60	23
税金等調整前四半期純利益	218	476
法人税、住民税及び事業税	41	144
法人税等調整額	56	74
法人税等合計	98	219
少数株主損益調整前四半期純利益	120	257
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△6
四半期純利益	118	264

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120	257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△18
その他の包括利益合計	△22	△18
四半期包括利益	98	239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96	245
少数株主に係る四半期包括利益	2	△6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュー ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,477	127	4,605	—	4,605
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,477	127	4,605	—	4,605
セグメント利益	594	21	616	△364	251

(注) 1. セグメント利益の調整額△364百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュー ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,022	103	5,125	—	5,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,022	103	5,125	—	5,125
セグメント利益	783	7	790	△324	466

(注) 1. セグメント利益の調整額△324百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。